

週間感染症情報

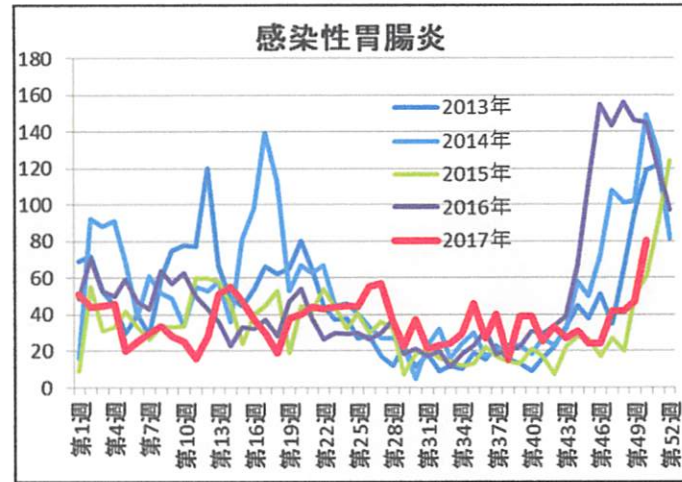
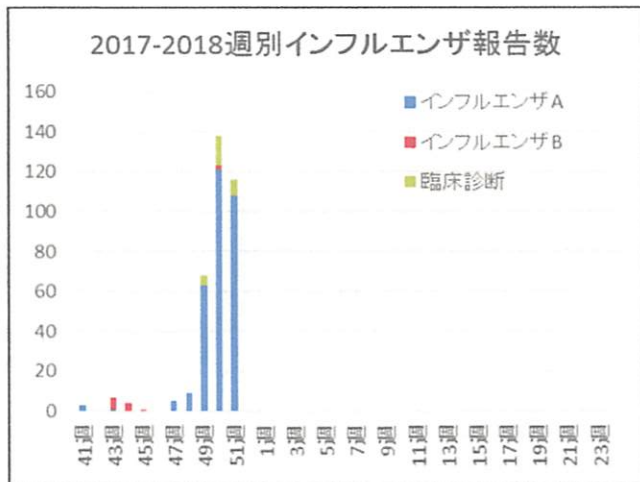
2017年50週 2017年12月11日より2017年12月17日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	17
手足口病	8
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	1
感染性胃腸炎	80
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	4
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	6
RSウイルス感染症	4
マイコプラズマ感染症	
インフルエンザ(臨床診断含む)	138
インフルエンザA	121
インフルエンザB	2
A+B	

インフルエンザAの報告数が増えて、クラス内流行から地域での流行になっています。

51週は12/20(水)までの報告で116例です。臨床診断例8例を含めてすべてA型です。岡山県のウイルス検出状況によりますと、12月になり49週までに5例の報告があり、備中地区の1例を含めてすべてAH1pdm(いわゆる新型)です。総社市内では、最近6シーズンはAH3(いわゆる香港型)の流行でしたので、り患歴のない小児が多く、大きな流行になることが危惧されます。AH1pdmについてはワクチンの有効性が高いという報告があります。接種後2週間で抗体が上昇するということですので、今から接種しても間に合うと思います。ワクチン不足も解消されましたので、ワクチン接種を希望される方は早めに接種してください。

感染性胃腸炎、特に嘔吐を主とするノロウイルスの胃腸炎の報告が増えてきました。嘔吐・下痢は病気の原因となっているウイルスや細菌を体の外に出すという意味があります。嘔吐した時すぐに受診する必要はなく、しばらく飲まず食わずで経過をみて、嘔吐が落ち着いてから少しずつ水分を飲ませてください。しかし、嘔吐が続くようなら受診してください。年末年始、パーティーなど集まる機会も多くなります。感染を広げないためにも無理して参加しないようにしましょう。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)